

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月29日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	地方独立行政法人山口県産業技術センター	代表者名	木村悦博
担当者部署	企業支援部	連絡先電話番号	0836-53-5056
担当者役職		担当者氏名	
住所	755-0195 山口県宇部市あすとぴあ4-1-1		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	山口県	連絡先部署	商工労働部新産業振興課
担当者氏名		連絡先電話番号	083-933-3143
		連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	和田 雅昭
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	午前に山口県水産関係機関と「養殖業支援」に関する協議、午後は企業、漁協、水産関係者と「漁業操業支援」に関する協議を実施した。アドバイザーからは「養殖業支援」及び「漁業操業支援」に関して、これまでの知見や具体的な実施例を示して頂きながら、山口県の現場に沿った提案をして頂くことで、より具体的な問題点が明らかになり、かつ解決案も検討することができた。
アドバイザーへの要望事項	来年度以降も事業を実施していくので、メール等での助言をお願いしたい。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月28日	9時30分	16時00分	90	300
3-2. 派遣場所	会場名	山口県産業技術センター 他		最寄駅	新山口駅
	所在地	山口県宇部市あすとぴあ4-4-1 他			
	最寄駅からの交通手段	申請団体による送迎			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	山口県内の水産関係者(漁業者、企業、県、漁協、研究機関等)	41人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	今年から開始した①漁業操業支援(県内漁法のスマート化)では、事業開始が9月末だったこともあり、まき網漁法の漁船への機器の取り付けだけで今期の漁期が終了した。そのため、データ収集の問題点が明確になっていない。また、来年度に実施する予定の小型底引き網漁法では、漁師への詳細のヒアリング実施ができていないため問題点把握が遅れている。また、来年度に向けた②養殖業支援(環境モニタ・操業日誌システム)の具体的な取組みの検討をする必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	①漁業操業支援を目的に、日本海のまき網漁法、瀬戸内海の底引き漁法に対して、1)操業記録収集システムと2)市場も含めた情報共有化システムの構築を目指す。今回の支援では、今年度実施内容と来年度の実施計画について、今年度の進捗を元に内容、スケジュールを協議しながら、事業計画の策定を行う。 ②養殖業支援を目的に、日本海での養殖に必要な環境モニタについて仕様等の検討を行う。今回の支援では具体的な取組みを明確化する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	事業計画策定にあたり、アドバイザーに以下の助言を頂いた ①漁業操業支援 システムの今後の課題(航跡や燃料データ解析による効率化、市場とのデータ連携)と来年度の事業策定(小型底引き網漁法における操業支援要素) ②養殖業支援 環境モニタの事例をもとに、仕様検討(センサ種類、設置方法、データ収集法等)とスケジュールおよび運用する際の問題(校正、クリーニング、操業日誌等)検討	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	事業計画で以下の内容を協議することができた。 ①漁業操業支援 操業記録システムの今後の改題(データ解析内容)と来年度の事業策定に必要な要因(漁業者のメリットと具体的なシステム構成) ②養殖業支援 環境モニタの事例(福井・三重)の理解と仕様決定(モニタ項目)及び実施に向けた課題抽出	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 事業計画策定に関する支援のためアンケートは実施しない。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	水産関係者及び漁業者と協議を進めながら、適宜助言を頂くことで、今年度実施した内容の確認を行うことができた。また、その問題点を明らかにすることで来年度の事業計画の策定を行うことができた。来年度事業に関しては、①漁業操業支援(中型まき網漁法、小型底引き網漁法)と②養殖業支援(マグロ・サバ)を実施することにしており、実施に際して問題点については、今後も支援を頂くことにした。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	日本海及び瀬戸内海沿岸の主要漁法の操業支援システム及び養殖業の支援システムを構築することで、県内水産業の効率化と衛星データを用いた情報産業の創出。	

**6. 地域情報化アドバイザー支援の様子**  
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

